



5年生理科授業「流れる水の動き」



歯科教室（1年生）

学校シリーズ～河東小学校～



3年生環境体験授業「コウノトリについて」



やきいも大会（全校）

## 定例会報告

宍粟市立認定こども園条例の制定及び  
（仮称）一宮市民協働センター建設工事  
請負契約の締結ほか

2～3

## 1月臨時会報告

宍粟総合病院建替等用地購入補正予算  
及び土地の取得について

## 12月議会の一般質問

4～9

好評連載中いいね👍しそうな人 山崎高校生活創造科

10～11



議会だよりはこちらから

## 第82回

# 宍粟市議会定例会

12月定例会は、11月30日から12月19日までの20日間の日程で開催され、宍粟市立認定こども園条例の制定をはじめ条例の一部改正及び平成30年度補正予算、(仮称)一宮市民協働センター建設工事請負契約の締結等、提案された22件すべての議案を可決しました。

### 宍粟市立認定こども園 条例の制定

#### 【議案内容】

平成31年4月1日、戸原こども園及び一宮北こども園を開設することから、施設の設定及び管理等について定めるもの。

#### 【主な質疑】

**問** 保育所と認定こども園とで保育料に差がある。

**答** 平成31年10月から幼児教育の無償化が実施され、格差は解消される。

#### 議決結果

全会一致で原案可決

### 宍粟市立幼稚園設置条例の 一部改正

#### 【議案内容】

一宮北こども園を開設することに伴い三方幼稚園を廃止。一宮南中学校区において幼保一元化施設が整備されるまでの間、神戸幼稚園において3歳児教育を実施するための改正。

#### 【討論】

**反対討論** 全ての幼稚園で3歳児教育を実施すべきである。

#### 賛成討論

幼保一元化施設を整備し実施されている。

#### 議決結果

賛成多数で原案可決

### 宍粟市立保育所条例の 一部改正

#### 【議案内容】

戸原こども園及び一宮北こども園開設に伴い、戸原保育所及び一宮北保育所を廃止するもの。

#### 議決結果

全会一致で原案可決

### 宍粟市一般職の職員の給与 に関する条例の一部改正

#### 【議案内容】

平成30年度人事院勧告を踏まえ、国の制度に準拠するという基本的考え方から、必要な規定を整備するもの。

1点目に各給料表を、若年層に重点を置き、平成30年4月に遡及して0.16%引き上げる。

2点目に12月支給の勤勉手当を一般職は0.05月、再任用職員は0.025月引き上げる。

3点目に総合病院に勤務する医師及び医師以外の職員の宿日直手当の支給限度額を引き上げるもの。

#### 【主な質疑】

**問** 人事評価を給与に反映させるシステムづくりを検討すべきではないか。

**答** 市の職務内容全てを画一的に公平に評価することは難しい。

#### 議決結果

全会一致で原案可決

### 宍粟市集落センター条例の 一部改正

#### 【議案内容】

河東ふれあいセンター及び戸原ふれあいセンターについて、地元へ譲渡を行うことで自治会との協議が整ったことに伴う改正。

#### 【主な質疑】

**問** 避難所の指定を受けている施設だが、自治会へ譲渡した場合、避難所としての機能はどのようになるのか。

**答** 地元の意見を聞きながら方針を出していく。

#### 議決結果

全会一致で原案可決

### 宍粟市福祉医療費助成条例及び 宍粟市母子家庭等医療費の 助成に関する条例の一部改正

#### 【議案内容】

兵庫県の制度改正に伴い、制度の対象となる未婚のひとり親家庭等の市町村民税非課税及び所得割額の算定について、寡婦(夫)控除のみなし適用を行うもの。

#### 【主な質疑】

**問** 対象者への周知はどのように行うのか。

**答** 広報やしそチャンネル、ホームページなどで周知する。

#### 議決結果

全会一致で原案可決

宍粟市議会議員及び宍粟市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正

【議案内容】

公職選挙法の一部改正に伴い、市議会議員の選挙において選挙運動用のビラの頒布が可能となり、ビラの作成に要する費用について、条例で定めるところにより公費負担とできるための改正。

議決結果

全会一致で原案可決

（仮称）一宮市民協働センター建設工事請負契約の締結

【契約相手方】

ハマダ・宮藤特定建設工事共同

企業体

代表者 株式会社ハマダ

構成員 宮藤建設株式会社

契約金額

8億1千2百16万円

議決結果

全会一致で原案可決

宍粟市立小中学校空調設備整備事業請負契約の締結

【契約相手方】

明和・協伸・加藤特定建設工事

共同企業体

代表者 株式会社明和工務店

路営業所

構成員 株式会社協伸電気設備

構成員 株式会社加藤建築事務所  
契約金額 4億3千9百56万円

議決結果

全会一致で原案可決

平成30年度宍粟市

一般会計補正予算(第5号)

【議案内容】

施策の実施に支障をきたすこと  
がないよう予算措置を講じると  
もに、7月豪雨災害に伴う復旧事  
業費の補正、人事院勧告を踏まえ  
た一般職の職員の給与改定に伴う  
人件費の補正など、5億7千7百  
49万7千円を予算計上するもの。

【主な質疑】

問 ジビエ倍増モデル事業につ  
いて、施設の設定場所は決定してい  
るのか。

答 設置の候補地については協議  
中であり、地元合意が得られなけ  
れば予算執行はできない。

議決結果

全会一致で原案可決

第83回 1月11日開催

宍粟市議会臨時会

平成30年度宍粟市

一般会計補正予算(第6号)

宍粟総合病院の建て替え候補地  
として、山崎町中比地(工場跡地)  
3万8千6百78・80㎡の土地購入  
費用6億6千167万円を予算計  
上するもの。

【議案内容】

【討論】

【反対討論】

現在地での建て替えが  
可能ではないのか、何故いま土地  
を取得するのか、本当に適地なの  
か等議論が尽くされたとはいえな  
い。

また、市民の意見を聞く場もな  
く市民不在の議案である。

よって、継続審査を求める。

【賛成討論】

病院の現状から建て替  
えのためには相当の用地が必要で  
ある。この移転用地は適地であり、  
機会を逃すと将来このようない団  
地の土地を確保することは極めて困  
難であり、先行取得すべきである。

議決結果

賛成多数で原案可決

第84回 1月23日開催

宍粟市議会臨時会

宍粟市夜間応急診療所条例  
の廃止

【議案内容】

平成31年3月末をもって宍粟市  
夜間応急診療所を閉鎖することと  
し、条例を廃止するもの。

利用者の多くは15歳未  
満の子どもであったが、今後の公  
立宍粟総合病院の対応では、子ど  
もに対する応急診療体制が整って  
いないことが問題である。

【反対討論】

【賛成討論】 宍粟総合病院は、市民  
の生命と健康を守る皆である。し  
っかりと対応していただくことを  
求めて賛成する。

議決結果

賛成多数で原案可決

土地の取得について

【議案内容】

宍粟総合病院の建て替え候補地  
として、3万8千6百78・80㎡の  
土地を取得するもの。

【取得の相手方】

東亜林業株式会社他1名

取得金額

6億6千140万7千4百80円

【討論】

【反対討論】 病院建設が10年後であ  
るのに、瑕疵担保責任の期間が購  
入後の1年間だけでは適地で安全  
とあるという説明になっていない。

【賛成討論】

宍粟市民にとって安心  
安全で、生命を守る中核病院とし  
て医療福祉の中心地となることを  
求めて賛成する。

議決結果

賛成多数で原案可決

**問** 山崎地域の幼保一元化について

**答** 今年度中に方向性を示す



浅田 雅昭

日本一の風景街道の創造

**問** これまでも、全体構想の考え方や山崎中心市街地の歴史ある街並みも風景であり、最上公園もみじ山との一体的な整備の必要性について提案してきた。日本一の風景街道の創造に向けての具体的な事業計画について改めて伺う。

全体構想策定状況は、歴史ある街並みの整備をどのように進めていくか、森林環境譲与税の活用をどのように考えているか

**市長** 4町で拠点となる景観整備や地域の特色を出しながら事業展開している。今後、地域のネットワークを構築し、点から線、線から面へと発展させ全体構想を描く。

山崎中心市街地活性化委員会が中心となり歴史ある街並みを観光資源として活用されている。引き続き、市・商工会・関係団体と連携し整備を進めていく。

条件不利地での「森林整備」や日本一の風景街道に繋がる景観形成を目指す「環境景観保全」など

5項目での活用を検討している。

幼保一元化の推進と保育士の確保について

**問** 幼保一元化の早期推進が必要である。特に、山崎幼稚園園舎の状況も踏まえ、山崎地域の推進状況はどのようになっているか。

**市長** 今年度中に方向性を示す。



山崎幼稚園

**問** 幼児教育の無償化が実施されると、保育所等への入所需要は更に高まる。保育士の確保対策を伺う。

**教育長** 国県の制度を活用し処遇改善等を図り確保に努める。

**問** 消火栓の設置場所、道路中央にある消火栓の移設を。

**建設部長** 多額の費用を要するため検討課題としたい。

**問** 旧町・旧村単位で自由に使える予算を

**答** 仮称「協働のまちづくり交付金」制度を検討している



今井 和夫

**問** この広い宍粟市を一つの同じ制度でやっていけば、旧町単位の独自性、良さが消えていく予感がある。「自分たちの町は自分たちで作る」の意識の醸成のため、地域に独自の予算を与えてはどうか。

今まで出していた補助金を精査して組み替え、それぞれの事業に出すのではなく、一括してその地域に出す。それをその地域でどう使うかを自分たちで考える。そのような仕組みを作って、もう一度地域の自治体制を作る必要があると考えるがどうか。

**市長** 地域内の幅広い年齢層が地域の維持や活性化のために限られた財源の中で優先すべき取り組みを自ら真剣に考え着実に実践できる仕組みとして非常に重要な課題だ。その方策として、仮称「協働のまちづくり交付金」の制度を検討中だ。

北部地域における第一のダム機能のソフト面の充実を

**問** 第一のダム機能として市民局の建て替え等のハード面の整備が行われようとしているが、それだけでは若者の流出は止まらない。若者の定着のためのソフト面の施策として、例えば北部地域で家を新築すれば今の施策プラス百万円の助成をするなど、北部に住んで地域を守るうとする若者を支援する施策を作ってもらいたい。

**市長** それが政策誘導になるかどうかは今は判断できないが、仮に効果があるのならばそれも重要だ。

**問** 限られた財源の中で思い切った施策をするには思い切った削減も必要だ。住民に丁寧に説明していく中で削減すべきものは削減していく必要があると考えるがいかがか。

**市長** 廃止や縮小を徹底すべきである。不転の決意でのぞみたい。

**企画総務部長** 地域創生を推進していくことに集中していきたい。

問 太陽光発電設備設置に関する条例の制定を!

答 条例制定も含め出来るだけ早く対応する



田中 孝幸

問 太陽光発電設備の設置に反対しているではありません。再生可能エネルギーの持つ意義もわかりますし「光から電気」という自然の有り様に対しては、大変興味があります。

只、現在の太陽光発電設備の作られ方や作られる場所に問題が多いと考えます。太陽光発電設備は、住宅地であるうと宍粟市が提唱している「日本一の風景街道」になりうる自然環境の田畑・山林であるうと、建築基準法等の規制なしに設置が可能です。特に、急斜面の山林で森林を伐採して設置された太陽光発電設備については、景観阻害、住環境悪化だけではなく、土砂災害の発生が非常に危惧されます。

太陽光発電設備の設置による災害発生の恐れ並びに自然環境及び生活環境等に及ぼす影響に対しての規制は、昨年6月に制定された「宍粟市太陽光発電施設設置事業に関する指導要綱」では担保され

ません。「設置許可を要する区域の設定」や「設置禁止区域の設定」又「維持管理状況の報告制度」など具体的な規制と罰則を加えた、条例の制定が必要であると考えますが、如何か。

市長 建築基準法が適用されないなどから予想を大きく上回る太陽光発電施設が設置され設置地区内のトラブル、山林伐採による自然破壊が宍粟市でも起きている事は認識しています。自然環境の保全を重視した中での事業推進が基本であるので適切な設置と維持管理が出来る為にも先進的に取り組んでいる市町の条例などを参考にしつつ宍粟市に合った規制等を条例制定も含め研究・検討を行い、出来るだけ速く対応していきたい。



太陽光発電

問 一宮北部の医療体制確保の取り組みは

答 地域医療の充実を図るべく研究を進めている



飯田 吉則

問 一宮北部では、小学校の統合や、認定こども園開園に伴う幼稚園廃園により、繁盛、下三方地区では一層さびれて行くように感じる状況にある。それに輪をかけたのがJASスーパーの撤退、医療機関の移転である。

特に、医療は住み続ける上での最低条件である。行政の責任として、医療サービスの提供確保についての考えを伺う。

市長 平成30年3月に策定した地域医療推進基本方針に基づき、医療の確保と充実に努めなくてはならないと考えており、鋭意、研究をしているところである。

問 夜間応急診療所閉鎖後の、宍粟総合病院での対応はどのようになるのか。

市長 総合病院においては、15歳以上については救急対応とし、電話相談を受けたものについては当直医師による対処の判断も行う。また、県の小児救急医療電話相談

と、新たに始まった播磨姫路小児救急医療電話相談が利用できることとの周知に努め、子どもの安心安全の確保に努めたい。

問 資源物リサイクルの市内循環の考え方について、当局主導ではなく、地域の考え方を優先し、従来のリサイクル活動も含めて考えて行くべきではないか、それにより市民のリサイクル意識の向上にもつながるのではないかと考えるが如何か。

市民生活部長 まずは、市が提案させていただくが、最終的には、地域の皆さんのリサイクル活動として活用していただければと考えている。

問 可燃ごみの週2回収集実証試験の結果を受けて、どう対応するのか。

市長 色々なご意見をいただいている。慎重に検討し、委員会での議論も深めていただく中で、いい施策となるよう努めたい。

**問** ひとにやさしい  
駐車スペースを！

**答** 全ての市民が、住みよい  
まちづくりへ努力する



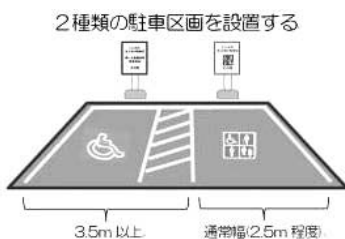
大久保 陽一

**問** 宍粟市の活性化に向け、旧山崎町役場跡地周辺の有効活用、神姫バス山崎ターミナル周辺（駐車場・駐輪場整備、観光ステーションの設置などを総合的に進めるべきではないのか。

**市長** 旧山崎町役場の跡地利用とバスターミナル周辺整備をリンクさせて進めたい。観光ステーションの候補地（場所）に関しては、一定の期限を設けて結論を出したい。

**問** 障がい者用駐車スペースを必要とする車いす使用者や歩行困難者がより利用しやすい駐車スペースであるために、兵庫ゆずりあい駐車場制度の市民周知並びに車いすに準ずる利用者用駐車施設を付加した駐車スペース「ダブルスペース」を導入されたい。

**健康福祉部長** 「兵庫ゆずりあい駐車場制度」を広く市民へ周知を行っていききたい。公共施設整備に際して、ダブルスペースの整備を提案していきたい。



**問** 少ない人数で遠距離を登下校する子どもたちの安全確保を行うため、民家の少ない通学路や部活動終了時間などを考慮し、保護者の意見も取り入れた新しい基準で、スクールバス等による安全対策が検討されるべきではないのか。

**教育部長** 少子化などによる通学路の安全確保をどのように図っていくのか、学校等と協議を行っているのか。

**問** 生徒数の減少の中、市内各高校（山崎高校・伊和高校・千種高校）の今後を市としてどう考えているのか。

**教育長** 各高校の定員割れの中、独自の新しい取り組みがされている。県教育委員会へは、三高校の存続を訴えていく。

**問** 子どものインフルエンザ  
予防接種に助成を

**答** 子育て支援として  
調査・研究を加速していく



宮元 裕祐

**問** 65歳以上であれば、インフルエンザの予防接種は個人負担1300円で受けられます。子育て支援策として、子どもにもインフルエンザ予防接種に助成が必要と考えるが、市の考えを伺う。



**市長** 法において積極的な勧奨はしないこととされているが予防接種は、多子世帯の保護者にとって大きな負担となっている。子育て支援策として調査・研究をより加速していく。

**問** ランドセルなどの通学かばんの中身の重さが問題となっており、専門家の研究によると、通学かばんの重さは、子どもの発達や成長のためには、体重の10～15%までの重さが適切であるといわれています。重さに対する認識を伺う。

**教育長** 市内の小

学1・2年生のランドセルの重さは約4.5kgでした。体重の20%の重さに



なります。教科書・教材などが重くなっています。成長や登下校の安全などの観点から学校に教科書などを置いて帰る「置き勉」など、重さに対して研究し丁寧に配慮していきます。

**問** 住みやすい、住み続けたいまちとして買い物環境の改善が必要である。市の考えを伺う。

**産業部長** 北部地域の買い物環境の改善は重要であり、買い物弱者対策も研究している。買い物ができる店舗は地域の人が交流できる場所でもあり必要です。市民と民間業者などと連携し、行政として支援できる施策を提案していきます。

**問** 地域経済の活性化には、体験や滞在型の観光が必要と考える。市の考えを伺う。

**市長** 観光には満足度が重要である。地域資源で宍粟市の良さを生かし、それが地域経済の好循環につながることを考える。

特に北部地域の観光・環境資源は、宍粟市の観光振興の中核を担っている。施設等の充実には計画性をもって取り組んでいく。

問 地域医療について

答 公立宍粟総合病院を  
中核に充実を図る



田中 一郎

**問** 健康診断から、予防医療に関する指導、地域の医療機関での病診（初診、往診、服薬管理などを一般診療所で、高度な検査や治療を病院で連携して行い、効率的な治療を目指す）などに取り組みられているものの、過疎化が目立つ本市北部においては、無医地区、無歯科医地区及びこれらに準ずる地域に対する対策が、極めて重要な問題となっています。過疎地域自立促進特別措置法においても過疎対策の目標の一つに「医療の確保」が掲げられています。宍粟市の取り組みを伺います。

**市長** 宍粟市における、医療資源については、医師の高齢化あるいは後継者不足など山積する課題を抱えており、厳しい状況にあることは認識している。宍粟総合病院と国保診療所と連携のもと宍粟市のどの地域でも診療が受けられるよう環境を整え、無医地区を発生させない体制づくりを行う。また、宍粟市は広域な面積を有することから、通院のための交通手段の確保と充実を検討したい。医師会のご理解をいただき、市・総合病院・医師会三者で議論を進め、介護・福祉分野においても一層の協力を

制を構築したいと考えている。

**問** 平成30年3月に策定された「宍粟市における地域医療推進のための基本方針」における、現在の取り組み状況とその評価をどのように捉えているのか伺います。

**市長** 基本方針に基づき、地域医療の方向性は定まったと捉えている。健康福祉部、関係部局での協議をする場が整ったと評価している。

**問** 公共土木施設・農地及び農業用施設等災害復旧工事、家屋や工場等の再建の進捗状況、経済・生活面の暮らし支援について伺います。

**まちづくり推進部長** 豪雨災害に伴い各種支援制度を立ち上げ、国県と協議し、被災者生活再建支援制度により被災者の方から申請相談等を受け支援を行った。

**産業部長** 農林水産事業施設での災害件数は、農地53件、農業用施設38件、林道22路線、商工業施設26件となっており、早期の復興復旧工事を進めていく。

**建設部長** 公共土木施設災害については、河川災害58か所、道路災害40か所、橋梁1か所、公園1か所であり、工事発注を随時実施していく。

問 拡大する観光行政を支える体制について問う

答 経験ある職員の育成に取り組む



神吉 正男

**問** 「しそつ秋物語」と題し市内4カ所で展開された「ちくさもみじ祭り」「原不動滝元祖もみじ＆りんご祭り」「福知渓谷もみじ祭り」「最上山もみじ祭り」は、どれも大盛況であった。

ここ数年、地域の団体が主体的に運営するイベントが増えており、市の観光行政の規模も急速に拡大している。それに伴い、観光の現場で奮闘する市や観光協会の職員にかかる負担が大きくなっている。

「観光立市」を掲げる宍粟市としては、今後さらに力を入れていくためには、経験ある現場職員の育成や増員が急務であると考えられるか。

**産業部長** 資質・能力の向上は職員に課せられた責任であるので、ベテラン職員を育てる観点で、所属部署で一定期間経験を積む必要がある。



**企画総務部長** 観光分野では、長年の経験値が生きてくる。現時点で

市職員の派遣や増員は厳しい状況であるが、プロパー職員を育てていく事を今後の検討課題とする。

**問** 「関係人口」とは、移住による定住人口や観光による交流人口ではない「地域と多様に関わる人々」を指す言葉だが、ふるさと納税者等を「関係人口」に取り込み、宍粟市との継続的なつながりを持つ仕組みができないものか。

**産業部長** 交流人口・流入人口の拡大にも繋がる良いアイデアである。現行のふるさと市民制度や宍粟市アンテナショップの充実により、課題の改善にも取り組んでいく。

**問** 山崎インターパークアンドライド駐車場の利便性向上を。特に夜間の高速バス利用者の安全や、地域住民の安心のための防犯灯の増設、駐車スペースの拡大を望む。

**副市長** 防犯灯は増設をする。またネクスコ西日本には更なる照明の設置を要望していく。パークアンドライド駐車場の満車の時は、多目的広場の駐車スペースや、市職員駐車場の南側部分の利用を促す案内看板を設置する。

問 高校生まで医療費無料の実現を

答 平成31年度から実施したい



山下 由美

**問** 兵庫県下においても中学3年生まで医療費無料を超えて、高校生までを助成の対象にしている自治体が増えている。宍粟市においても高校生まで医療費無料を早期実現するべきではないのか。

**市長** 平成31年度から実施するため、現在調整中である。

問 安心見守りコール事業の改善を

**問** この事業は、在宅の一人暮らし高齢者が安心して地域生活を送れるように緊急通報装置を貸し出し、急病や災害時などに緊急ボタンを押せば必要に応じた支援を24時間体制で得ることが出来るものである。しかし近年、希望しても利用できなかったと言う声をよく聞く。宍粟市では対象者が、介護保険法の要介護認定2以上となっていることが問題だ。この事業は老人福祉法に基づくものであり、近隣10市町を調査したが、介護保

険法の要介護認定2以上などという規定を設けている市町は存在しない。老人福祉法では高齢者の福祉を増進する責務が自治体にある事を明記している。希望者が利用出来るように改善すべきである。どうか。

**健康福祉部長** 必ずしも要介護認定2以上ということではない。利用できなかった場合、健康福祉部に相談があれば速やかに対応する。

指定避難所に「福祉避難室」の確保を

**問** 高齢者や障がい者など配慮を要する人たちが安心して避難できるように、体育館以外の教室、保健室等を「福祉避難室」として確保するべきではないのか。

**まちづくり推進部長** 教育委員会と協議をして行きたいと考えている。

問 「日本酒発祥の地」のPRについて

答 これからの時代PRにも投資が必要



津田 晃伸

**問** 日本酒発祥の地のPRについて伺う。今や海外での日本酒人気は過熱し続けています。「日本酒発祥の地」としての財産を活用し、売込みをかけるべきです。日本酒プロデューサーとして日本酒の魅力を世界に発信している著名人がいるが、彼らをPRに活用する考えはないか。また外に向けての発信の指揮は誰が舵を取るのか。

**市長** 日本酒発祥の地をPRすることは不可欠で西播磨全体で取り組んでいる。これまでの行政はPRに対して大手広告代理店等へ投資をするという考えはなかったが、これからの時代はPRにも投資が必要と考えている。専門的なPRも今後は重要な要素である。地域を創っていく舵取りは当然、市長の私である。

時代に即して、しっかりと方向を定め、行政、



日本酒発祥の地「ぬくるの泉」

市民、事業者が総力を上げてのPRが必要である。

**問** 起業家支援について伺う。北部の産業を活性化させるために、農村民泊、観光、食、スポーツ、レジャーを起業のテーマに絞ってはどうか。また助成した後のフォローアップ、検証が重要だと思いがされているのか。どれほどの雇用が生まれて事業として発展し助成金が生きたお金となっているのか見ておくべきと考えるがいかがか。

**市長** テーマ型の支援は事業計画のレベルアップが図られる点や、他の起業の模範となるビジネスモデルが構築される点において大変有効な手段ではないかと考える。先進事例も参考にしながら制度の仕組みを研究したい。

**産業部長** アフターフォローは起業された事業者や会社を訪問してヒアリングを行っているので、そこでの意見を参考に今後制度の拡充を行いたい。



**問** 宍粟市の魅力をもっと広めては

**答** 提案事項検討していきたい



榎橋 美恵子

**問** 少子高齢化が加速し、何もしなかったら人口が減っていくのは必然。移住者を増やしていくのにはどのような取り組みをお考えなのか伺いたい。宍粟市に足を運んで頂くために提案をしたいと思えます。愛犬をリードなしで自由に遊ばせる事が出来る「ドックラン」の開設は如何ですか。次に夏でもスキーやそり遊びが出来る「ウォータージャンプ」の設置は如何でしょうか。

**市長** 交流人口を増やしていく事が市内の経済循環であったり地域の活性化をより促進し地域づくりにつながるという理解している。「ドックラン」開設の提案については地域の理解等研究しながら検討していきたい。

**産業部長** 近年暖冬となりスキー場の運営は厳しい状況であるが指定管理者と連携しながら「ウォータージャンプ」等の設置については夏場の有効活用かと思うので検

討していきたい。又移住者を増やす取り組みとしては東京・大阪・神戸各地で行われたイベントや相談会に参加して宍粟市の暮らしをPRしている。本年度の空き家活用契約も24件・森の家づくり応援事業も市外から13件あり、順調に推移している。今後も推進していきたい。

**問** 子どもの健やかな成長へ、子ども食堂・おうち食堂等で子ども達に食事を届ける支援を。

**健康福祉部長** 様々な事情で食事が十分に取れない、孤食とならざるを得ない子ども達のために子ども食堂が全国で広まっているのは承知している。当市では生活困窮者支援事業としてこの夏休みに、子ども学習支援事業をモデル校において実施しました。その取り組みが食の支援と連携した事業として展開できるかどうかの可能性について研究していきたい。

**問** 法律が定める障がい者雇用は

**答** 平成31年末までに達成する



大畑 利明

**問** 障がい者雇用の意義は、その特性により、健常者以上の働きが期待できる事や職場のコミュニケーションを豊かにするなどの効果が期待できる。障がい者雇用を進め、共生の社会づくりに努めるべきである。今後の採用計画と発達・知的を含めた障がい者の公正採用をどう進めるのか。また、雇用の実現には、職場実習やチャレンジ雇用など、制度の創設が必要ではないか。

**市長** 採用選考は、身体に限定せず募集しており、法定雇用の達成に向けては、プロジェクトチームによる研修や業務の切り出し作業を行う予定である。

**企画総務部長** 法定雇用数は、平成31年末までに達成する。また、短期間雇用制度などを活用し正規雇用につながることも検討したい。

**太陽光発電施設の設置管理条例は**  
**問** 災害防止、自然・生活環境の保全、事業終了後のパネル放置等に対応する条例の制定が必要では。

**市長** 市民意見など所要の手続きを経て、できるだけ早く宍粟市に合った条例を制定したい。

**市民生活部長** 神戸市の条例を参考

に住環境等に影響を及ぼす区域の規制などを今後検討したい。

**域内の経済循環率をどう高める**

**問** 宍粟市地域経済循環率は、66.1%。域内で生み出される付加価値や域外から流入した所得の1/3以上が域外流出し、消費や投資として支出されたものが再び域内に還流していない課題がある。

生産・販売での域内調達を高め、域内での需要額を増加させ、新たな雇用を生む施策として何を考えているか。

**産業部長** 域内の経済循環を好循環に改善する必要がある。企業間の情報交換や取引条件のマッチングを促したい。また、六次産業化等を通じて商品の高付加価値化を図るため、多面的な支援を行う予定である。

**荒廃農地の解消策について**  
**問** 農地への再生が不可能なB分類農地対策が急務である。早生樹等の植栽に取組み多様で健全な里山への誘導を図るための制度・仕組みが必要では。

**市長** 里山整備等の必要性を認識しており、森林環境譲与税の活用も含め、新年度にむけてしっかり取り組む。



このコーナーでは、市内で地域づくりに頑張っておられる団体や個人を広報広聴常任委員会のメンバーが取材し、皆さんにお知らせします。

## 山崎高校生活創造科

山崎高校生が考えた「ゆずしそしょうゆ」が発売されました。

平成28年度の新しそうビジネスサポートで生活創造科の取り組みを見た矢木醤油(株)様が、「宍粟市とたつの市は、揖保川の上流と中流の特色を生かして、高校生とコラボレーションすることで何かいい商品ができるのでは」

と考えられ、宍粟の特産品を使った新しい調味料作りを一緒にしませんかと依頼があった。生徒の自由な発想で新しい商品を開発できるということで、平成29年度3年生の課題研究の授業で開発がスタート。

食物を専門に学ぶ生徒7名がアイデアを出し合い、長期保存や材料の確保・コストなどの課題があったが、多くの方々に喜んでいただける商品、宍粟市をPRできる商品として実験と研究を重ね、本醸造醤油に安富のゆず果汁と宍粟の青じそを使った風味豊かな「ゆずしそしょうゆ」が完成しました。

ラベルデザインは美術部が担当し、平成30年9月から製造販売がスタートしました。後輩にあたる平成30年度の3年生は、しそう森林王国観光協会と一緒に森林セラピーで「ゆずしそしょうゆ」を使用した手作りラン

チで、新しく手軽に使える調味料として美味しさをアピールしたり新メニューを考案し、ご来店されたお客様に大変喜ばれたそうです。明治39年創業の老舗醤油店・矢木醤油(株)営業部矢木敦様は「市内10店舗、市外13店舗で取り扱っており、大変好評です。宍粟市を中心に、姫路、加古川、神戸などに販路が増えていけばと思っています。」

今後は販売だけではなく、レストランやカフェなどで料理メニューで活用していただける飲食店を見つけて出すことができたかと思っております。この商品がもっと普及して知名度も上がり、食卓になくはならない商品になってくれれば、望外の喜びです。」と期待されています。





【発酵のまち六粟】

発酵食品を使ってランチやスイーツに挑戦されました。

森セラピー&高校生の手作りランチでは、

塩麹入り梅じそご飯

塩麹ささみと地元野菜の天ぷら

豆腐ステーキゆずみそソース

半熟卵とクリームチーズのみそ漬け

甘酒など

「森のセラピー御膳」

森セラピー&高校生の手作りスイーツでは、

酒粕シフォンケーキ

赤じそチーズケーキなど

「森のセラピースイーツ」

が提供されました。

発酵スイーツ開発プロジェクトは、六粟市・

森のお菓子工房いちご・山高生活創造科の



取組みです。

【兵庫高等学校総合文化祭文化部

合同発表会で初披露】

市内お菓子製造事業者「森のお菓子工房木いちご」の竹内さんに試作品づくりを指導してもらい

しそバウム

しそジャムクッキー

みそマカロン

しそチーズクリーム&甘酒クッキー

4品が完成。

昨年11月17日に神戸市のハーバーランドで行われた「県高等学校総合文化祭文化部合同発表会」で発酵スイーツ開発プロジェクトを紹介、今回完成したスイーツを販売し好評でした。

生徒は「酒粕などの発酵材料はスイーツに



するイメージがなかったがバウムやクッキーに使うと食べやすく香りもよかった。マカロンに使った波賀味噌はスイーツに風味としてアクセントが出せてよかった」など。

生徒から料理は、メニューや栄養・カロリーなどを考えて、作った料理をお客様に提供する時には「彩り」を大切にし、同じ食材でも調理法やアレンジによって別の料理になるのが楽しい。あと、インスタ映えも。

「自分たちが作ったゆずしそしょうゆを使った新メニューが市内の飲食店で食べられるようになったらうれしい」と期待されています。

3年生は、もうすぐ卒業です。生活創造科で学んだことを大切にして、自分の夢を実現するためにチャレンジして欲しいです。

## 賛否の分かれた議案（第82回定例会）

…賛成(採択) ×…反対(不採択)

議案	津田晃伸	宮元裕祐	山下由美	東豊俊	今井和夫	大久保陽一	田中孝幸	浅田雅昭	田中一郎	神吉正男	飯田吉則	大畑利明	林克治	榎橋美恵子	西本諭	実友勉 <small>(議長)</small>	議決結果		
宍粟市立幼稚園設置条例の一部改正について			×								×	×					-	可決 (賛12、反3)	
ばんしゅう戸倉スキー場等に係る指定管理者の指定について												×						-	可決 (賛14、反1)

## 以下の議案は全会一致で可決しました

- ・宍粟市立認定こども園条例の制定
- ・宍粟市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正等 7件
- ・旧慣による公有財産の使用権の廃止
- ・平成30年度宍粟市農業共済事業に係る家畜共済割の賦課単価の変更
- ・(仮称)一宮市民協働センター建設工事など請負契約の締結 2件
- ・市有財産の処分 2件
- ・平成30年度予算の補正(一般会計と5つの特別会計)
- ・市道路線の認定

## 賛否の分かれた議案（第83回臨時会）

…賛成(採択) ×…反対(不採択)

議案	津田晃伸	宮元裕祐	山下由美	東豊俊	今井和夫	大久保陽一	田中孝幸	浅田雅昭	田中一郎	神吉正男	飯田吉則	大畑利明	林克治	榎橋美恵子	西本諭	実友勉 <small>(議長)</small>	議決結果	
平成30年度宍粟市一般会計補正予算(第6号)について	×	×	×		×						×	×					-	可決 (賛9、反6)

## 賛否の分かれた議案（第84回臨時会）

…賛成(採択) ×…反対(不採択)

議案	津田晃伸	宮元裕祐	山下由美	東豊俊	今井和夫	大久保陽一	田中孝幸	浅田雅昭	田中一郎	神吉正男	飯田吉則	大畑利明	林克治	榎橋美恵子	西本諭	実友勉 <small>(議長)</small>	議決結果		
宍粟市夜間応急診療所条例の廃止について			×														-	可決 (賛14、反1)	
土地の取得について	×		×		×							×	×					-	可決 (賛10、反5)

### 平成31年 3月議会の日程 (予定)

2月25日(月) 本会議(議案上程)  
 2月28日(木) 常任委員会付託案件審査  
 3月 1日(金) 常任委員会付託案件審査  
 3月 5日(火) 一般質問  
 3月 6日(水) 一般質問  
 3月 7日(木) 一般質問・採決

3月11日(月) 予算委員会  
 3月12日(火) 予算委員会  
 3月13日(水) 予算委員会  
 3月14日(木) 予算委員会  
 3月26日(火) 本会議(最終日)

## 編集後記

昔から「災いは忘れた頃にやってくる」ということわざがありますが、近年はこのことわざは当てはまりません。平成30年の漢字が「災」となったように、豪雪・豪雨・酷暑・台風・地震と連続して日本列島を襲いました。今や「災害は忘れる前にやってくる」ではないかと思いません。

ある著名な物理学者は、「100年以内に地球の滅亡を予言し、宇宙のどこかに移住をしなければならぬ」とまで言っています。こんなことは絶対にあつてはなりません。今こそ、人類の英知を集めて災害に強い地球にしなければなりません。また本年は、皇太子様の天皇即位より、新しい年号がスタートいたします。是非安穏な年になることを切に願っております。宍粟市議会と致しまして、市民の方々の安心安全をどの様に確保するのかを、行政部局と一丸となって進めてまいります。ご意見・ご要望をお待ちしております。

広報広聴常任委員会

委員 西本諭